

「沖縄県気候変動適応センター」の設置について

沖縄県気候変動適応センターの設置

沖縄県では、2021年に「沖縄県気候変動適応計画」を策定し、気候変動の影響による被害を防止・軽減するための適応策を推進しています。この取り組みをさらに強化するため、2024年12月25日に「沖縄県気候変動適応センター」を設置しました。センターは、県の環境部長をセンター長として、環境再生課に事務局を設置し、科学的知見を補完するための技術部を当研究所に配置します。センターの主な役割は、気候変動に対応するために必要な情報を集め、整理・分析し、発信することです。これにより、県内の気候変動への適応力を高め、持続可能な地域づくりを推進します。

沖縄県での気候変動の影響

気候変動は、世界中でさまざまな影響を引き起こしています。沖縄県でも、温暖化の進行によって、20世紀末に比べて今世紀末には年平均気温が1.0～3.3℃上昇し、大雨の頻度が増えると予想されています¹⁾。これにより、熱中症のリスクが高まるほか、サンゴの白化や集中豪雨による赤土の流出など、沖縄特有の影響も懸念されています。これら影響の軽減には、地域に合った効果的な対策を取り入れることが重要です。

緩和策と適応策

気候変動への対策は、主に「緩和策」と「適応策」の2つに分けられます。緩和策は、温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を減らし、その進行を防ぐための対策です。一方、適応策は、すでに進行しつつある気候変動に備え、その悪影響を軽減・防止するための対策です。これらは、互いにバランスを取りながら進めていく



図1. 緩和策と適応策²⁾



図2. 左：大雨後の赤土流出
右：サンゴの白化

必要があります。

沖縄県でも、地域に合った具体的な適応策が求められています。これらの対策を進めるためには、国、市町村、専門機関等との連携が大切です。

また、県民や事業者の皆さんにも、気候変動の影響を実感し、積極的に適応策に取り組んでいただくことが、沖縄全体の気候変動への適応力を高めることに繋がります。

情報の発信

センターで収集した情報や適応策は、沖縄県気候変動適応センターのホームページ³⁾で発信しています。

参考資料

- 1) 沖縄気象台. 沖縄地方の気候変動 沖縄地方のこれまでの気候の変化(観測成果). <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/kiko/obs_okinawa.html>. 2025年1月アクセス.
- 2) 気候変動適応情報プラットフォーム(A-PLAT). 気候変動と適応. <https://adaptation-platform.nies.go.jp/climate_change_adapt/index.html>. 2025年1月アクセス.
- 3) 沖縄県気候変動適応センター. <<https://www.lcca-c-okinawa.jp>>. 2025年1月アクセス.

【環境科学班】